

令和 2 年 度
事 業 報 告

社会福祉法人名古屋市名東区社会福祉協議会

令和2年度事業報告

はじめに

令和2年6月の改正社会福祉法により、国は「地域共生社会」の実現に向けた地域づくり・包括的な支援体制を整備するための具体的な取り組みの一つとして、市町村単位で地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備するため、①相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」を創設しました。社会福祉協議会にとっても、これまで取り組んできた身近な圏域における住民主体による福祉活動の推進・支援に加え、市町村における包括的相談支援体制への参画が当面の大きな取り組み課題となってきています。こうした施策動向を背景に、本会は名東区を誰もが自分らしく暮らせるまちにするために、住民の参加を得ながら区役所をはじめとする関係機関やボランティアなど関係団体と協力して地域福祉を推進するため、令和2年度も事業計画に基づき各取り組みを行ってまいりました。

一方、国内で令和2年1月頃から広まった新型コロナウイルス感染症は令和2年度に入ってから新規感染者数の増減を繰り返しながら感染拡大を続け、感染防止のため「3つの密（密閉・密集・密接）」を避け相手との身体的距離の確保を必要とする「新しい生活様式」の浸透は、「ふれあい・交流」を基本としてきた今までの地域福祉活動の実施方法を根幹から揺るがすことになり、住民主体による福祉活動推進の大きな弊害となりました。また、度重なる国や県独自の緊急事態宣言の発出などを受けて、本会も「60歳の門出を祝う会～還暦式～」をはじめ予定していた事業の一部中止を余儀なくされました。

しかし、令和2年度も引き続き「第4次名東区地域福祉活動計画」（計画期間：令和元年度～令和5年度）に基づき、この計画の基本理念である「誰もが自分らしく暮らせるまちへ～学ぶ・伝える・つながる～」を進めるため、感染防止対策を十分に行いつつ、区民の有志の皆様や区内の関係機関・団体の皆様の参加による活動計画作業部会及びプロジェクトチームを中心に、具体的な取り組みの検討・実施をできる範囲で行いました。特に令和2年度から開始した「名東区子ども・子育て支援応援助成事業」については、コロナ禍により助成審査会の一般公開を取りやめるなど予定を一部変更しながら実施することで、区内の子ども・子育て支援関係団体の発掘・育成に取り組むことができました。

また、「地域福祉推進協議会（以下「推進協」といいます。）の支援」では、特に各学区の推進協が実施する「ふれあい給食サービス事業」については、会食によるサービスの実施に代えて配食や弁当の持ち帰りなどの実施支援に努めるとともに、「地域支えあい事業」の継続的な支援に取り組みました。さらに、「高齢者等サロンの整備等推進事業」においては、推進協をはじめ各種団体の協力を得て、サロン運営団体への活動支援を引き続き行いましたが、コロナ禍により開催の中止や実施内容の変更を余儀なくされるサロンが多いため、運営団体等に対し感染防止対策やコロナ禍における運営・実施方法などのアドバイス・支援を積極的に行い、サロン活動が少しでも再開・継続できるように努めました。

さらに、新型コロナウイルス感染症は、区民への経済的な影響も大きく、本会においては、困窮した世帯に対し相談支援や生活費の貸付などの対応を行いました。

そのほか、指定管理者として名古屋市から受託して運営している『名古屋市名東児童館』では、感染防止対策に十分に行いつつ、引き続き子どもの健全育成及び子育て支援にかかる活動を行うとともに、ひとり親家庭等の児童を対象とした「中学生の学習支援事業」及び「高校生の学習継続支援事業」を実施しました。

アンダーラインは令和2年度の新規・拡充事業、※は地域福祉活動計画関連事業

1 地域福祉活動の推進

(1) 「第4次名東区地域福祉活動計画」の推進 (※)

令和元年度から令和5年度までの5年間を計画期間とする第4次地域福祉活動計画について、地域住民はじめ行政、福祉関係機関・団体等の参画を得た推進会議を組織し、作業部会と作業部会内に設置した4つのプロジェクトチームを中心に、基本理念「誰もが自分らしく暮らせるまちへ～学ぶ・伝える・つながる～」のもと、4つの基本目標、11つの基本計画、11の実施計画から成る計画を推進した。

《会議開催状況》

ア 推進会議

開催日・場所・参加者数	主 な 内 容
令和2年12月11日（金） 名東区在宅サービスセンター 20人（委員のみ）	進捗状況の報告
令和3年3月15日（月） 名東区在宅サービスセンター 22人（委員のみ）	進捗状況の報告

イ 作業部会

開催日・場所・参加者数	主 な 内 容
令和2年11月27日（金） 名東区在宅サービスセンター 13人（委員のみ）	作業部会部会長・副部会長の選出について 各プロジェクトチームの進捗状況報告
令和3年2月19日（金） （新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催）	各プロジェクトチームの進捗状況報告

ウ プロジェクトチーム会議

プロジェクトチーム名	開催月日
地域デビュー応援隊	令和2年 7月13日・8月28日・9月25日・10月29日・12月18日
ちゃんこ	令和2年 4月10日・9月18日・11月20日 令和3年 1月29日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催）
情報発信	令和2年 7月9日・9月11日・11月16日 令和3年 3月12日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
困りごと相談・生活支援 （地域包括ケア推進会議生活支援連絡会ワーキンググループ）	令和2年 6月23日・8月6日・10月21日 令和3年 1月19日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催） 3月11日

(2) 地域福祉推進協議会への支援（※）

地域福祉推進協議会（以下「推進協」）が実施するふれあい給食サービス事業、ふれあいネットワーク活動や、ふれあい・いきいきサロンなどを支援し、地域住民同士の支えあい・ふれあい活動の促進を図った。

また、職員の学区担当制を強化し、給食会やサロンなどの推進協行事等に積極的に参加するとともに、運営や事業・活動推進のサポートを行った。あわせて、推進協会長連絡会を区における生活支援の協議体と位置づけ、区生活支援連絡会として開催し、特にサロン活動等高齢者支援における学区の取り組みを紹介し、情報共有を図った。

* 推進協活動助成：19学区 * 推進協子育て支援活動助成：19学区

* 推進協ふれあい・いきいきサロン活動助成：12学区

《各学区活動状況》

学区名	主な活動内容
西山	子育てサロン、敬老会等
名東	子育てサロン、あいさつ運動等
高針	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン等
猪高	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン、友愛訪問、フラワーサークル等
藤が丘	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン、高齢者への年賀状送付等
香流	子育て支援、ふれあい・いきいきサロン、ひとり暮らし高齢者誕生日プレゼント等
猪子石	子育てサロン、わんぱく祭り、ふれあい・いきいきサロン、敬老会等
梅森坂	子育てサロン、ふれあいネットワーク活動、ふれあい・いきいきサロン、お花見会等
蓬来	友愛活動、ラジオ体操等
本郷	子育てサロン、広報紙発行、友愛訪問等
貴船	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン、おこしもの作り等
極楽	子育て支援、ふれあい・いきいきサロン、ふれあいネットワーク活動等

学区名	主 な 活 動 内 容
上 社	子育てサロン、高齢者調査、友愛訪問等
豊が丘	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン、敬老会等
引 山	子育てサロン、子ども見守り活動、ラジオ体操等
平和が丘	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン、挨拶運動等
前 山	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン、敬老会等
北一社	子育て支援、年賀状・残暑見舞訪問、敬老会、挨拶運動等
牧の原	子育てサロン、ふれあい・いきいきサロン、ふれあいネットワーク活動等

《会議・研修の開催》

ア 推進協会長連絡会（地域包括ケア推進会議生活支援連絡会）

	第1回	第2回（※）
開催月日	令和2年10月7日（水）	令和3年2月15日（月）
開催場所	名東区役所講堂	—
参加者数	29人	—
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○生活支援事業の進捗状況 ○地域福祉推進協議会の活動紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・梅森坂学区における見守り活動 ・豊が丘学区における給食会 ○生活支援連絡会ワーキンググループの開催状況 等 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催 ○生活支援連絡会ワーキンググループの報告 ○生活支援事業実施状況 ○地域支えあい事業の方向性 等

（※）新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 推進協事業の再開に関する説明会

*開催月日：令和2年7月30日（木）

*開催場所：名東区在宅サービスセンター研修室

*参加者数：19人

*主な内容：給食会の再開について、サロンの再開について、推進協事業の実施について

ウ 推進協事務連絡会

*開催月日：令和3年2月15日（月）

*開催場所：名東区役所講堂

*参加者数：32人

*主な内容：助成事業及び各種提出書類について

（1）地域福祉推進協議会事業

（2）ふれあい給食サービス事業

（3）ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険

（3）ふれあい給食サービス事業の支援（※）

地域社会の中で孤立しがちなひとり暮らし高齢者などの相互の交流や、ボランティアを始めとする地域住民との交流の場づくりを目的として行われているふれあい給食サービス事業に助成を行った。

*ふれあい給食サービス事業助成：19学区

《各学区事業実施状況》

実 施 団 体	主な実施場所	回数	延べ 参加者数	備 考
西山学区福祉推進協議会	西山コミュニティセンター	6	195	配食
名東学区地域福祉推進協議会	名東コミュニティセンター	3	50	会食
高針学区地域福祉推進協議会	高針コミュニティセンター	4	176	会食・配食併用
猪高学区地域福祉推進協議会	猪高コミュニティセンター	6	392	会食・配食併用
藤が丘学区地域福祉推進協議会	藤が丘コミュニティセンター	3	78	配食
香流学区地域福祉推進協議会	香流コミュニティセンター	8	275	会食
猪子石学区地域福祉推進協議会	猪子石コミュニティセンター	5	234	配食
梅森坂学区地域福祉推進協議会	梅森坂コミュニティセンター	7	748	配食
蓬来学区地域福祉推進協議会	蓬来コミュニティセンター	2	375	配食
本郷学区地域福祉推進協議会	—	0	0	—
貴船学区地域福祉推進協議会	貴船コミュニティセンター	1	58	会食
極楽学区地域福祉推進協議会	極楽コミュニティセンター	4	299	会食・配食併用
上社学区地域福祉推進協議会	上社コミュニティセンター	10	540	会食・配食併用
豊が丘学区地域福祉推進協議会	豊が丘コミュニティセンター	4	123	配食
引山学区地域福祉推進協議会	引山コミュニティセンター	3	172	配食
平和が丘学区地域福祉推進協議会	平和が丘コミュニティセンター	2	25	会食
前山学区地域福祉推進協議会	—	0	0	—
北一社学区地域福祉推進協議会	北一社コミュニティセンター	7	1032	配食
牧の原学区地域福祉推進協議会	牧の原コミュニティセンター	4	134	会食
合 計		79	4,906	

※会食：弁当の配布や講演会の開催等を含む。

(4) 地域支えあい事業の実施 (※)

高齢者の困りごとを、地域のご近所ボランティアによって支援し、要支援高齢者等が可能な限り、自立した日常生活を営むことができるようにすることで、住民同士の支え合う意識の向上を目的とする本事業について、高針・藤が丘・梅森坂・引山・北一社の5学区で実施するとともに、令和3年度上半期から極楽学区においても新たに実施するための準備を行った。

また、本事業を実施しない学区について、本事業に準じた地域住民による身近な相談窓口の開設をすすめるため、サロン関係者に認知症サポーター養成講座を受講していただくとともに、認知症登録カフェ（ろばかふえ）になっていただくことで、相談窓口機能を高めていながら開設・運営支援を行った。

その他、実施学区の情報交換やご近所ボランティアを増やすため、ボランティア講座（交流会）を開催した。

《事業実施状況》

*登録ボランティア数 288名

*困りごと対応件数 1,951件

対応例) ゴミ出し、季節衣類整理、家電手入れ、除草、庭木切り・処分、清掃、外出付添い 等

*総ポイント数 15,496ポイント

《会議・研修会の開催》

ア 地域支えあい活動連絡会議

実施学区	開催回数	構成員数	会議構成メンバー
藤が丘	3回	11人	区政協委員長（推進協会長）、区政協力委員（2）、女性の会会長、民児協会長、なごやかクラブ会長、元区政協委員長、ご近所ボランティアコーディネーター（2）、北部いきいき支援センター分室職員、社協職員
梅森坂	4回	12人	区政協委員長（推進協会長）、自治会役員（2）、民児協会長、民生委員、なごやかクラブ会長、ご近所ボランティアコーディネーター（2）、南部いきいき支援センター職員、社協職員
引山	3回	8人	区政協委員長、推進協会長、民児協会長、サロン主催者、ご近所ボランティアコーディネーター（2）、北部いきいき支援センター職員、社協職員
北一社	6回	29人	区政協力委員、元区政協力委員、青色防犯パトロール隊員、コミュニティセンター管理人
高針	2回	18人	区政協委員長（推進協会長）、なごやかクラブ会長、区政協力委員（2）、民児協会長、民児協副会長、民生委員、学区連協役員、保健環境委員会長、コミュニティセンター管理人、ご近所ボランティアコーディネーター（3）、南部いきいき支援センター職員、社協職員

イ 相談窓口設置

実施学区	窓口曜日、時間	ご近所ボランティアコーディネーター
藤が丘	水（9:00～12:00） 金（9:00～12:00）	2人 （元民生委員）
梅森坂	月（9:00～12:00） 木（13:00～16:00）	2人 （区政協力委員）

引山	月 (13:00~16:00) 木 (13:00~16:00)	2人 (元民生委員)
北一社	コミセン開設時間 (9:30~16:30)	6人 (元区政協力委員)
高針	火 (13:00~16:00) 木 (9:30~12:30)	3人 (サロン代表者、コミュニティセンター管理人、区政協力委員)

ウ ボランティア講座の開催

	藤が丘学区ボランティア交流会	地域支えあい事業実施学区交流会
開催月日	令和2年11月30日(月)	令和2年12月1日(火)
開催場所	藤が丘コミュニティセンター	名東区在宅サービスセンター
参加者数	25人	28人
主な内容	○活動報告 ○交流(グループワーク)	○活動紹介 ○対応事例の意見交換

(5) ふれあい・いきいきサロンの整備等推進(※)

高齢者をはじめとした地域住民同士が、身近な場所で交流できる場としてのふれあい・いきいきサロンについて、名古屋市が実施する「高齢者等サロンの整備等推進事業」において、新規設立のための働きかけを行い、サロン数の拡大に努めるとともに、サロン運営団体に対し、運営費の助成及び活動支援を行った。

またサロンの運営支援、新規設立希望者への情報提供を目的に、サロン運営者交流・研修会「さろん♥すてっぷ」を月1回定期的に開催した。

《設置・把握数》

分類	令和2年度	(参考) 令和元年度
共生型	1	1
高齢者	77	80
障がい者	0	0
子育て	30	30

《会議・研修会の開催》

ア「さろん♥すてっぷ」開催状況

月	日	内容	参加人数
4	20	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
5	20	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
6	22	『新型コロナウイルス感染症の感染予防対策について』 名東区社会福祉協議会 地域福祉推進スタッフ	17
	23		15
	25		14
	29		14

7	20	『高齢者の健康について（認知症サポーターについてなど）』 名東区北部いきいき支援センター 認知症地域支援推進員	14
8	20	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	—
9	休み	—	—
10	20	認知症サポーター養成講座 名東区北部いきいき支援センター 認知症地域支援推進員	18
11	20	『免疫力を維持するための食事について』 名東保健センター 管理栄養士	12
12	休み	—	—
1	20	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
2	休み	—	—
3	休み	—	—

イ サロン助成金説明会

項 目	1 回 目	2 回 目
開催月日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため郵送にて書類送付	令和3年2月26日（金）
開催場所	—	在宅サービスセンター研修室
参加者数	—	35人+19人（推進協）
主な内容	令和2年度運営助成金申請 令和2年度上半期事業報告	令和2年度事業報告 令和2年度活動助成金報告 令和3年度活動助成金申請 令和2年度下半期運営助成金申請

(6) 「名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業」の受託実施

市内の65歳以上の方を対象に、区内8カ所のコミュニティセンターで体操や創作などのプログラムを提供することにより、心身機能の低下を防止し、介護予防はじめ仲間づくりや社会参加を促進することを目的として実施した。

また、参加者へ地域でのボランティア活動を呼びかけ、がん患者への毛糸の帽子を寄付など事業以外での地域活動につなげた。

この他、会場を超えた仲間づくり・交流を目的に自主活動グループの支援を行い、現在4グループが定期的に活動している。

《事業実施状況》

実施会場	曜日	時間	実施回数	延べ利用人員	登録者数
豊が丘コミュニティセンター	月	10:00 ～	18回	181人	23人
西山コミュニティセンター	火		17回	152人	22人
梅森坂コミュニティセンター	水		20回	143人	20人
平和が丘コミュニティセンター	木	12:00	18回	171人	21人
高針コミュニティセンター	金		18回	158人	21人
上社コミュニティセンター	月	13:30 ～	17回	156人	24人
北一社コミュニティセンター	火		17回	186人	23人
引山コミュニティセンター	木		19回	174人	13人
計			144回	1321人	167人

※新型コロナウイルスの影響により、4月～6月、8月11日～10月末、1月22日～3月7日の期間は中止。

《会議・研修の開催》

○はつらつサポーター交流会

*開催月日：令和3年3月19日（金）

*開催場所：名東区在宅サービスセンター研修室

*参加者数 12人

*内 容：各会場での活動報告、コロナ禍における事業実施の注意事項伝達

(7) 「めいとうライフサポーターズ講座」（名古屋市高齢者日常生活支援研修同等研修）の開催

区内で生活上の困りごとを抱えた高齢者等を支援する人材を発掘・養成するため、区地域包括ケア推進会議事業として、医師会・介護保険関係事業者連絡会・NPO法人・南北いきいき支援センター・区役所・市社会福祉協議会とともに、高齢者福祉や介護保険、医学等の基礎知識を学び、区内介護保険施設や介護予防事業を見学する研修の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。修了者を対象にフォローアップ講座を開催した。

《事業実施状況》

項目	1回目	2回目
開催月日	令和2年11月7日（木）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
開催場所	在宅サービスセンター研修室	
修了者数	12人（男性6人、女性6人）	
主な内容	○フォローアップ講座 フォローアップ講演、活動者インタビュー、交流会	

(8) 地域における高齢者生活課題に対応した生活支援事業の推進 (※)

区内の少子高齢化が著しく進行した団地等において、孤立の防止及び高齢者生活課題の解決を目的として、市営引山荘と市営梅森荘の2地域において、住民会議を軸に、地域の現状・課題について共有し、解決方策として、移動販売車の招致及びサロンや見守り活動を実施した。

《事業実施状況》

	引 山 荘	梅 森 荘
住民会議	活動連絡会議 3回	20棟見守り会議 9回
地域課題解決にかかわる事業・活動	<p>○サロン「なごやか★喫茶」の開催 毎週火曜日 10:30~12:30 ※新型コロナウイルス感染症により、年間8回開催。</p> <p>○コープあいちによる移動販売実施 毎週火曜日 11:40~12:30</p>	<p>○モデル棟における住民相互の見守り活動実施 (2名見守り中/ボランティア4名)</p> <p>○見守り会議の定期開催 毎月第2月曜日(10月まで) 9:30~ 毎月第2火曜日(11月から) 9:30~ (4,5,8月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)</p>

(9) 「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の開催 (※)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発出されたことに伴い開催中止。

《企画内容》

*開催月日 令和3年1月24日(日)

*開催場所 名東文化小劇場

*参加決定者数 119人(参加申込者数 137人)

*内 容 ○活動発表「シニアの方にエールを送ります！」

・コーディネーター

学校法人 東邦学園 愛知東邦大学 人間健康学部人間健康学科
教授 藤沢 真理子 氏

・登壇者

有限会社 笹野空間設計 代表取締役 笹野 直之 氏
北一社生活支援ボランティア 会長 鷺見 憲文 氏
名東みらい会メンバー

○記念演奏(愛知東邦大学吹奏楽団)

○地域活動紹介 他

(10) 自主グループ「名東みらい会」の活動支援（※）

「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の参加者を中心に平成30年11月11日に発足し、社会貢献および還暦世代の親睦を図ることを目的として活動する「名東みらい会」の活動支援を実施した。

《交流会の開催》

*開催月日 令和2年11月28日（土）

*開催場所 名東区在宅サービスセンター研修室

*参加者数 19人

(11) 「第29回めいとう福祉まつり」の開催

広く区民に対して福祉意識の啓発を目的に、2週間ほど期間を設け、区内の福祉関係施設、団体、ボランティア、区役所等と連携して実施。

《事業実施状況》

*開催期間 令和3年2月15日（月）～28日（日）

*開催場所 区内各所

*来場者数 150人（名東区社会福祉協議会へスタンプラリーの賞品交換のために来場した人数）

*主な内容 パネル展示、施設巡り、製品販売、動画配信及び放映、スタンプラリー

(12) 「ふれあい交流ひろば事業」の実施協力

“誰もが気軽に参加できるふれあいの場”として貴船学区・梅森坂学区の地域福祉推進協議会が各々小学校を会場として、障がい者スポーツ、グラウンドゴルフ、工作体験などを通じて世代間の交流を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、本会の実施協力もできなかった。

(13) 花と人とのふれあいの場所づくり

花を育てることを通じて、地域住民がふれあうきっかけづくりの場として、藤の木団地内、猪高コミュニティセンター内、西一社第一公園内、貴船集会所及び貴船コミュニティセンター内の各花壇にて、地域住民主体で管理運営を行った。

(14) 「めいとう総合見守り支援事業」への協力（※）

地域において日ごろの見守り活動と連動させ、災害時に共助による迅速な安否確認や避難支援が行われるための仕組みをつくることを目指す本事業に参画し、区役所と協働して、事業周知用パンフレット及び避難行動要支援者名簿の保管者向けの手引きを作成したり、日ごろの見守り活動につながるよう学区への支援を行った。

(15) 「めいとうSOSあんしんポット」の普及・啓発

災害等緊急時に高齢者や障がいのある人が必要な支援を受けやすくするため「めいとうSOSあんしんポット」について区役所・保健センターと連携して普及、啓発を行った。

(16) 総合相談への対応

若年層の生活困難者やひきこもり等生活上に支援が必要なさまざまな個別ケースの相談に対応するため、総合相談担当を設置し、いきいき支援センターや介護保険事業所等との部門間連携を図り、地域と協力して個別ケースへの支援を行った。

(17) 「子ども・子育て支援応援助成事業」助成審査会の開催（※）

子育て世帯が多く住む区でありながら、子育てを支援するグループや団体が少ない現状を踏まえ、子育てに特化した助成事業を立ち上げた。書面審査及び審査員による審査会を実施し、助成団体を決定した。

（助成対象期間：6月14日～令和3年3月末）

<審査会>

*開催月日 令和2年6月13日（土）

*開催場所 名東区在宅サービスセンター研修室

*内 容 ○応募数 6団体（事業助成4団体／きっかけチャレンジ助成2団体）

○助成決定数 6団体（同上、詳しい助成先は18ページのとおり）

○助成総額 312,275円

(18) 福祉情報の充実及び広報・啓発促進（※）

ア 「めいとうゆめは一と」の発行

第84号(4月)・第85号(7月)・第86号(10月)・第87号(1月) 各4,000部

4、7、10月及び1月に「めいとうゆめは一と」を発行し、広く区民に本会の事業についてPRした。

イ 広報なごや(区版)の点訳版の発行

視覚障がい者のために、ボランティアグループ「名東ハーネス」に依頼し、広報なごや(区版)の点訳版を発行した。

ウ ホームページ・ブログの管理・運営

ホームページにおいて広く情報発信を行うとともに、区民目線の情報を発信するブログにより更なる内容の充実を行った。

(19) 在宅サービスセンターの運営

地域福祉活動の推進及び在宅サービスの提供を総合的に進める拠点として、地域住民や福祉活動団体等に対し、研修室、点訳室、録音室、ボランティアルームの貸出を行うとともに、施設の利用促進に努めた。

《利用状況》

貸出場所	利用団体数(延数)	稼働率
研修室1・2	396	35.4%
ボランティアルーム	310	49.2%
点訳室	22	4.5%
録音室	3	0.6%

※稼働日は平日・土曜・祝日（日曜、年末年始は除く。）

※稼働率は小数点第2位を四捨五入

2 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンターの設置・運営

区民のボランティアニーズに対応するため、ボランティア全般に関する相談をはじめ、ボランティア登録、派遣調整等を行った。

《登録・相談状況》

区 分	実 績 数
登録人数(個人)	193人
登録人数(グループ)	117グループ 6,075人
ボランティア相談・問い合わせ件数	52件
ボランティアニーズ受付件数	33件
ボランティアニーズ解決済件数	31件

(2) ボランティア意識の啓発

ア「ふれあい交流会」の開催

名東区手をつなぐ育成会と共催で、障がいのある子どもたちと区内の中高生、大学生の交流の場を設け、ボランティア活動や障がいのある子どもへの理解を深めるため開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

イ「めいとうボランティア展」の開催

住民のボランティア意識を高めることを目的に、ボランティア団体やボランティア受入側である福祉施設等の活動紹介をするパネル展示や動画の配信を行った。

*開催期間 令和3年1月12日(火)～1月29日(金) 正午まで

*開催場所 名東区役所1階ロビー(臨時展示スペース)

*参加団体数 11団体

*主な内容 活動・施設紹介パネル展示

紹介動画配信（手をつなぐ育成会・ひまわり福祉会・特別養護老人ホーム極楽苑）

(3) ボランティア活動保険への加入促進

保険加入者数：1,406人

(4) 名東区ボランティア連絡会事務局の運営協力

ボランティア団体相互の交流を図るとともに、住民のボランティア意識を高め、地域福祉の推進を図ることを目指し、事務局として各種事業や会議の取りまとめをした。

<ボランティア連絡会実施事業>

ア「めいとうボランティア展」（研修・企画部会）

実行委員会を立ち上げて企画。

イ「第29回めいとう福祉まつり」への参加（研修・企画部会）

ウ ボランティア連絡会情報紙「きら星めいとう」の発行（広報部会）

ボランティア連絡会のPRとボランティア活動振興を目的に広報紙の編集・発行を目指したが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため編集会議が開催できず令和2年度中は発行できなかった。次年度の発行に向け広報紙の編集会議を開催した。（ボランティア連絡会事業として実施）

*編集会議 1回（令和3年3月26日（金））

(5) 個別支援ボランティアグループ「なごやかボランティアめいとう」の運営支援

名東区介護保険事業所のなごやかスタッフ有志を中心に、制度では対応できない困りごとや趣味・楽しみへの支援を目的に組織化したボランティアグループについて活動・会の運営への支援を行った。

・なごやかボランティアめいとう会員数 15人 ・ボランティア対応件数 22件

(6) 福祉教育の推進

学校教育の場や地域で、児童・生徒、地域住民に対する福祉教育を推進するために、区内の学校、地域で行われた福祉活動へ講師・ボランティアの派遣や機材の貸し出し等を行った。

《福祉教育支援状況》

開催月日	対 象	参加者数	内 容
9月2日(水)	蓬来小学校5年生	68人	福祉講演(視覚障がい者による講演)
9月4日(金)	藤森中学校1年生	155人	福祉講演(車いす利用者による講演) 車いす体験
9月10日(木)	本郷小学校4年生	48人	福祉講演(車いす利用者による講演) 車いす体験
9月16日(水)	本郷小学校4年生	48人	福祉講演(視覚障がい者による講演) アイマスク体験
9月28日(月)	西山小学校5年生	234人	事前学習(福祉ってなあに)
9月30日(水)	貴船小学校4年生	104人	福祉講演(視覚障がい者による講演)
10月6日(火)	藤が丘小学校5年生	104人	福祉講演(車いす利用者による講演) 車いす体験
10月29日(木)	西山小学校5年生	234人	車いす体験
10月30日(金)	西山小学校5年生	234人	福祉講演(車いす利用者による講演)
11月9日(月)	牧の池中学校1年生	139人	福祉講演(聴覚障がい者による講演) 手話体験・交流
11月13日(金)	藤森中学校1年生	154人	福祉講演(聴覚障がい者による講演)
12月2日(水)	引山小学校5年生	52人	福祉講演(車いす利用者による講演) 車いす体験
12月4日(金)	牧の池中学校1年生	139人	福祉講演(車いす利用者による講演) 車いす体験
12月18日(金)	牧の池中学校1年生	139人	福祉講演(知的障がいについて) 知的障害疑似体験
1月15日(金)	猪子石中学校1年生	120人	福祉講演(視覚障がい者による講演) アイマスク体験
1月21日(木)	猪高中学校1年生	204人	福祉講演DVD(車いす利用者による講演) 車いす体験
1月22日(金)	猪高中学校1年生	204人	障害者スポーツ体験(ボッチャ、シッティングバレー)
1月25日(月)	神丘中学校1年生	300人	福祉講演(聴覚障がい者による講演) 手話体験・交流
1月28日(木)	引山小学校5年生	49人	福祉講演(視覚障がい者による講演) 点字体験
合計	小学校:6校	(延数) 2,729人	
	中学校:5校		

(7) 「やるやるカード」「いるいるカード」による一芸ボランティア登録の実施

自分の趣味や特技を活かし、拡大するサロンや認知症カフェの参加者等に披露したり、一緒に楽しんだり、手作り作品を制作したりする「一芸」ボランティアの募集を行った。

(8) 災害に備えたボランティア活動の推進

災害時における災害ボランティアセンターの円滑な運営と地域の防災意識の啓発のため、災害ボランティアグループ「名東区災害ボランティアの会」の支援を行い、各種行事へ参加した。

また、令和2年12月22日（火）に名東区役所、名東区災害ボランティアの会と協力し、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施した。

(9) 絵手紙ボランティアの開催

コロナ禍により高齢者への訪問機会の減少およびボランティア活動の機会減少したため、自宅でも取り組める活動として絵手紙ボランティアの会を開催した。作成した絵手紙は、いきいき支援センター見守り支援事業の登録者へ配布した。

*初回開催日 令和2年11月25日（水）

*開催場所 名東区在宅サービスセンター研修室

*参加人数 11人

（第2回は、緊急事態宣言発出に伴い中止）

3 各種福祉事業

(1) 高齢者福祉事業

高齢者に対する次の事業に助成を行った。

事業名	実施主体	実施月日	内容
学区敬老行事	学区連絡協議会	9月	記念品の配布等 14学区
高齢者福祉大会	老人クラブ連合会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
学区講演会事業	老人クラブ連合会	2月	学区講演会 参加者18人
ひとり暮らし高齢者 友愛訪問事業	老人クラブ連合会	通年	友愛訪問 訪問対象 98世帯

(2) 障がい児・者福祉事業

障がい者福祉施設・団体の事業に助成を行った。

事業名	実施主体	実施月日	内容
身体障害者福祉推進のための研修	身体障害者福祉協会	9月、11月	福祉に関する研修、見学
身体障害者指導者研修	身体障害者福祉協会	3月20日（土）	福祉に関する研修、見学
レクリエーション大会	身体障害者福祉協会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

バスハイク	手をつなぐ育成会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
交流体験	手をつなぐ育成会	11月8日(日)	牧野が池緑地 参加者数：41人
ハートウォーミング交流会	手をつなぐ育成会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
成人を祝う会	手をつなぐ育成会	3月7日(日)	名東生涯学習センター 参加者数：25人
障がい児育児サポート支援事業	手をつなぐ育成会	年間4回	名東区役所 訓練室 参加者数：延40人
小規模作業所 年末交流事業	藤森福祉会 障害者地域活動支援センターかたつむり TUTTI	12月	利用者相互・関係者との交流や親睦を図る。(TUTTIは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

(3) 児童福祉事業

①保育園関係事業に助成を行った。(市立保育園：10園、民間保育園：23園)

事業名	実施主体	実施月日	内容
社会見学	保育園長連絡会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
保育士会研修	保育士会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
保育園備品整備事業	保育園長連絡会	8月～10月	各保育園の備品購入
卒園児祝品贈呈事業	保育園長連絡会	3月	卒園児への記念品贈呈

②子ども会関係事業に助成を行った。

事業名	実施月日	内容
年少リーダーキャンプ研修	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
子ども会活動ボランティア研修会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
子ども会交流会事業	12月6日(日)	ビーンボウリング大会
子ども会壁新聞展	3月11日(木)～3月31日(水)	市民課ロビー
子ども会広報誌作成事業	3月	発行部数 6,000部
子ども会合同合宿研修事業	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③留守家庭児童健全育成のための施設整備事業として14学童保育所に助成を行った。

④子ども・子育て支援応援助成事業（※）

子ども・子育て支援を行う団体・グループに助成を行った。

種別	事業名	実施主体	実施月日	内容
事業助成	障がい者を含む老若男女が共に挑むダンス朗読劇講座	愛Wishプロジェクト	講座：1月～2月 (5回) 発表：2月27日	障害者支援施設ひまわりの風とのリモート講座及び発表
	びよびよサークル	子育て支援グループ わくわく	6月～3月(13回)	子育てサークル
	こども食堂 IN SALMA	S. W. A. T. PROJECT	10月～3月(6回)	子ども食堂
	こども食堂「ほのぼのキッチン」	NPO法人Hands	11月～3月(5回)	子ども食堂
きっかけチャレンジ助成	夏休みを楽しく -みんなでカレーを-	ボランティアグループ 藤が丘(陽だまり)	3月14日 3月28日	イベント及び会食 ※実施時期をずらして開催
	冬休み企画 子ども食堂	社会福祉法人 ひまわり福祉会	12月26日	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(4) 母子福祉事業

母子生活支援施設「名古屋市にじが丘荘」の実施する年末交流事業（クリスマス会）に助成を行った。

(5) 生活福祉資金の貸付

課題の解決と世帯の自立支援を目的に所得の低い世帯や障害者・高齢者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により生活困難な状況に陥った方々に対し特例貸付を行った。

《事業実施状況》

資金種別	相談件数	申請件数	申請金額 (円)	貸付件数	貸付金額 (円)
総合支援資金 特例貸付	1,428	587	271,123,600	480	207,029,000
緊急小口資金 特例貸付	1,914	1,156	206,210,000	1,133	201,610,000

資金種別		相談 件数	申請 件数	申請金額 (円)	貸付 件数	貸付金額 (円)
総合支援資金	生活支援費	3	0	0	0	0
	住居入居費	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0
福祉費		29	0	0	0	0
緊急小口資金		19	0	0	0	0
教育支援資金		19	5	3,470,000	6	3,453,000
不動産担保型生活資金		1	0	0	0	0
特例つなぎ資金		0	0	0	0	0
合 計		71	5	3,470,000	6	3,453,000

(6) 民生委員活動の支援

事業名	実施月日	内 容
民生委員児童委員連盟名東区支部 各種研修会	11月、1月	「平和公園アクアタワー」の視察研修、 研修会の開催等
名東区民生委員児童委員大会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
民生委員児童委員協議会役員研修会	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(7) 福祉用具等の貸出

一時的に車いす等が必要になった区民を対象に、一定期間無料で貸し出しを行った。

【車いすの貸出事業】車いす貸出件数：165件

4 理事会・評議員会の開催

事項	開催月日	主 な 審 議 内 容 等	出席者数
令和2年度第1回 理事会みなし 決議(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	令和2年 6月4日(木) 【決議日】	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の一部選任 ・評議員の一部選任にかかる候補者の提案 ・理事の一部選任にかかる候補者の提案 ・評議員選任・解任委員会の次期委員の選任 ・令和元年度事業報告 ・令和元年度決算 ・令和2年度第1回評議員会みなし決議の実施及び第73回評議員会の招集 	—

令和2年度第1回 評議員会みなし 決議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	令和2年 6月25日（木） 【決議日】	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の一部選任 ・令和元年度事業報告 ・令和元年度決算 	—
第82回理事会	令和2年 12月11日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正 ・理事の一部選任にかかる候補者の推薦 ・評議員の一部選任にかかる候補者の推薦 ・第73回評議員会の議題等変更及び第74回評議員会の招集 	18人
第73回評議員会	令和2年 12月18日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の一部選任 ・諸規程の一部改正報告 ・第4次名東区地域福祉活動計画の進捗状況報告等 	35人
第83回理事会	令和3年 3月15日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定 ・令和2年度資金収支補正予算 ・諸規程の一部改正 ・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度資金収支予算 ・第74回評議員会の議題等変更及び第75回評議員会の招集 	18人
第74回評議員会	令和3年 3月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度資金収支補正予算 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度資金収支予算 	42人

5 介護保険事業等の取り組み

(1) 名古屋市社会福祉協議会「名東区介護保険事業所」への運営協力

名古屋市社会福祉協議会の名東区介護保険事業所が実施する居宅介護支援事業及び訪問介護事業に協力した。

【実施事業】

ア 居宅介護支援事業

イ なごやかヘルプ事業

[訪問介護事業(介護保険制度・総合事業)、居宅介護事業(障害者総合支援法)、ひとり親家庭等生活支援事業、産前・産後ヘルプ事業、養育支援ヘルパー事業、生活応援サービス事業]

(2) 名古屋市社会福祉協議会「名東区北部いきいき支援センター」への運営協力

名古屋市社会福祉協議会名東区北部いきいき支援センターが実施する高齢者についての総合相談、介護予防・予防給付のマネジメント業務やケアマネジャーへの支援等の業務に協力した。

特に、地域における高齢者生活課題について、サロン及び認知症カフェの立上げ及びこれに関わる地域ボランティアの養成について、引き続き重点的に協働した。

なお、「はいかい高齢者おかえり支援事業」にかかる模擬訓練や推進協主催の福祉・介護講座における事業及び職員間の連携による実施については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

【実施事業】

ア 総合相談支援事業

イ 権利擁護事業

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

エ ブランチ型総合相談窓口事業

オ 介護予防支援事業、第一号介護予防支援事業

カ 高齢者の虐待防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく届出の受理、事実の確認のための措置、養護者の負担軽減のための措置

キ 認知症の人を介護する家族支援事業

6 名古屋市名東児童館の管理・運営

(1) 指定管理者の受託

名古屋市の施設にかかる指定管理者（指定期間：令和2～6年度）として、特定非営利活動法人介護サービスさくらとコンソーシアムを組み、名東児童館の管理・運営を行った（名古屋市名東福祉会館は介護サービスさくらが管理・運営）。

(2) 名東児童館の管理・運営

ア 児童館利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
2	414	318	1,694	2,982	1,954	2,694	10,056	
元	4,244	4,054	4,751	5,969	5,302	4,937	29,257	
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
2	3,248	2,760	2,494	2,646	2,506	3,018	16,672	26,728
元	4,451	3,975	4,385	3,780	3,701	488	20,780	50,037

※利用者内訳としては、乳幼児とその保護者、小学生の利用が多い。中・高校生の利用は他区に比較して少ないが、年々増加傾向にある。

※令和3年3月2日～6月1日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため留守家庭児童クラブ以外の事業を休止。6月2日以降、館内利用の人数制限、時間制限をして運営。

イ 中・高校生居場所づくり事業（令和3年3月末現在）

学 校 種 別	延べ利用者数	利 用 状 況
中学生（神丘中、愛知中、春日井西部中）	214人	ホール（体育室）でのバスケットボール、バトミントン、ドッジボール、卓球、ピアノ演奏、図書室での読書、遊戯室での将棋、オセロ、けん玉、ゲーム等
高校生（愛工大名電高、享栄高、中部第一高、名東高、菊里高、千種高、愛知総合工科高）	27人	

※毎週木曜日実施。中学生は19時まで、高校生（相当年齢）は20時まで利用可能。

※4～5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業休止。

ウ 主な事業

① クリスマス会

- *事業内容 クリスマス会（サンタクロース、ボランティアサークル「じゃりんこ」の出し物、ビンゴ大会等）
- *開催月日 令和2年12月19日（土）
- *参加者数 57人

② お正月☆ジャンボすごろく

- *事業内容 館内全部にすごろくのマスを作り、来館者が自由に大きなさいころをふって遊ぶ。
- *開催月日 令和3年1月5日（火）～7日（木）
- *参加者数 延べ162人

⇒例年行われている次の事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、それぞれの理由により、中止、変更した。

③ ミニ・ミュンヘン事業「Kids city（キッズシティ）2020」

- *事業内容 こどもによる、こどもだけの仮想都市体験空間の企画・運営
- *開催を予定していた日 令和2年9月26日（土）・27日（日）
- *中止理由 例年600人近くの参加者があり、館内がかなりの密集状態になることが想定されたため。

なお、代替事業として、次のことを実施した。

ミニミニ縁日

- *事業内容 こどもスタッフがプロデュースする縁日の開催
- *開催月日 令和2年11月28日(土)
- *参加者数 34人

④ 移動児童館

- *事業内容 児童館から離れた地域に職員が出向き、様々な遊びの提供を行う。
- *開催を予定していた日 令和2年4月16日(木)、5月16日(土)・21日(木)・18(土)、6月4日(木)、7月2日(木)、9月17日(木)、10月10日(土)・15日(木)・24日(土)、11月5日(木)、12月34日(木)、令和3年1月21日(木)、2月4日(木)
- *中止理由 会場の都合により。
なお、3月4日(木)については予定どおり実施した。(会場：名東区在宅サービスセンター研修室)

⑤ ふれあいカフェ・ミニ夏祭り・お出かけスケッチ・茶道体験・将棋交流

- *事業内容 名東福祉会館との合同事業。世代間交流。
- *開催を予定していた日
初夏のふれあいカフェ 令和2年6月20日(土)
ミニ夏祭り：令和2年7月31日(金)
茶道体験：令和2年8月6日(木)・27日(木)
敬老の日ふれあいカフェ：令和2年9月12日(土)
お出かけスケッチ：令和2年10月31日(土)
春のふれあいカフェ：令和3年3月6日(土)
将棋交流会：令和2年10月31日(土)
- *中止理由 福祉会館の閉館、事業中止により。
なお、「そだててクッキング♪」については、利用者との交流はできなかったが、福祉会館の畑を借り、職員の援助をうけて実施した。
- *事業内容 いらと大根の栽培、収穫
なお、調理体験については、新型コロナウイルス感染防止のため、中止し、レシピを渡した。
- *開催月日 令和2年9月13日(日) 10月3日(土) 17日(日) 11月7日(土) 29日(土) 12月5日(土)
- *参加者数 延べ42人

エ 留守家庭児童クラブ事業

- ・下校後帰宅した時に両親等が就労等により適切な監護が受けられない小1～6年生までの児童を対象に実施。(在籍している学年は小1～2年生)
- ・在籍者数 30人(令和3年3月末時点)

(3) 名古屋市名東児童館サービス向上委員会の開催

利用者へのサービスの質の向上を図るため、サービス向上委員会を開催した。

項目	第1回	第2回
開催月日	令和2年9月8日(火)	令和3年3月9日(火)

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度年間行事の報告 ・令和2年度年間行事および変更決定した行事について ・名東児童館における新型コロナウイルス感染予防対策について 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度児童館運営計画について ・利用者満足度アンケート結果について ・令和2年度留守家庭児童クラブの申込状況、選考結果について
-----	---	--

(4) 名古屋市中学生の学習支援事業および高校生世代への学習・相談事業の実施

令和2年4月1日～令和3年3月31日の期間において、ひとり親家庭、生活保護世帯および生活困窮者世帯の中学1～3年生を対象に、大学生の学習サポーターによる学習支援事業を実施した。また、同期間において、中学生の学習支援事業に参加していた高校生を対象に高校生世代への学習・相談事業を実施した。

*開催日時 毎週火曜日、木曜日 18時15分～20時15分の間で2時間ほど

*実施回数 2コマ合計89回（令和2年4月～令和3年3月末）

※令和2年4月1日～6月1日、「緊急事態宣言」発令中、2コマ合計15回休止、2回実施（利用者から特に希望があった場合は受け入れ可とされていたため。）

*登録者数 2コマ合計 中学生13人、高校生4人

(5) 新型コロナウイルス感染予防対策

令和2年6月2日以降、名古屋市の指針にもとづき、次のことを実施した。

- ・人数、時間制限・・・1日を3つの時間帯に分け、それぞれの時間帯で入館人数を制限した。
- ・検温・・・・・・・・・・来館者に、非接触型体温計による検温を実施した。
- ・消毒作業・・・・・・・・・・それぞれの時間帯の合間やクラブ活動、行事の終了後および閉館後に、館内の設備、おもちゃ等の消毒をした。
- ・換気・・・・・・・・・・窓を常時少しずつ開放したり、空気清浄機、換気扇を利用した。

その他、館内におもちゃ、ぬいぐるみ等の数を減らし、1日ごとに入れ替える、行事の時の座布団を適切な距離を置いてならべるなどの工夫をした。

7 その他

愛知県共同募金会（名東区共同募金委員会）事務局の受託運営を行った。